

平成 21 年 10 月 30 日
沖縄電力株式会社

平成 21 年度 第 2 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 2 四半期(累計)における当社の販売電力量は、電灯が前年同期に比べ 1.8%増の 15 億 39 百万 kWh、電力が 0.5%減の 24 億 62 百万 kWh となり、合計では前年同期に比べ 0.4%増の 40 億 1 百万 kWh となりました。

電灯においては、お客さま数の増加があったことによる需要増などにより、前年同期を上回りました。一方、電力では、大口電力において鉄鋼業で需要減があったことなどにより、前年同期を下回りました。

2. 収支の状況

当第 2 四半期(累計)の売上高は、前年同期に比べ 17 億 68 百万円減の 863 億 66 百万円、経常利益は 76 億 70 百万円増の 125 億 62 百万円、四半期純利益は 52 億 20 百万円増の 81 億 95 百万円となり、5 年ぶりの減収増益となりました。

収入面については、建設業とその他の事業における民間工事の受注増などがありましたが、電気事業における燃料費調整制度の影響による電灯電力料の減などにより、売上高は前年同期に比べ 17 億 68 百万円減の 863 億 66 百万円となり、経常収益は 21 億 52 百万円減の 866 億 32 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業における燃料費や他社購入電力料などの需給関連費用が大幅に減少したことなどにより、経常費用は前年同期に比べ 98 億 22 百万円減の 740 億 70 百万円となりました。

なお、当事業年度の間配当金については、1 株あたり 30 円といたします。

3. 業績予想

平成 21 年度通期の業績予想につきましては、売上高は 1,633 億円、営業利益は 160 億円、経常利益は 126 億円、および当期純利益は 78 億円を見込んでおります。

なお、売上高については、電気事業において燃料費調整制度の影響などにより、電灯電力料の増加が見込まれることから、前回発表した予想より 7 億円上方修正しております。また、利益については、電気事業において燃料価格の上昇による燃料費の増加、購入電力量増による他社購入電力料の増加が見込まれるものの、売上高の増により、前回発表より営業利益を 3 億円、経常利益、当期純利益を 1 億円それぞれ上方修正しております。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 21 年度 第 2 四半期累計(実績)	平成 20 年度 第 2 四半期累計(実績)	増減	増減率
電 灯	1,539	1,512	+27	+1.8%
電 力*	2,462	2,474	△12	△0.5%
合 計	4,001	3,986	+15	+0.4%
参 考	民生用需要	3,318	+21	+0.6%
	産業用需要	683	△6	△0.8%

※電力には特定規模需要を含む

■連結経営成績 (5年ぶりの減収増益)

(単位：百万円)

	平成 21 年度 第 2 四半期累計(実績)	平成 20 年度 第 2 四半期累計(実績)	増減	増減率
売 上 高	86,366	88,134	△1,768	△2.0%
営 業 利 益	14,368	6,269	+8,099	+129.2%
経 常 利 益	12,562	4,891	+7,670	+156.8%
四半期純利益	8,195	2,974	+5,220	+175.5%

○連結業績予想

業績予想については、平成 21 年 7 月 31 日に公表した予想数値から修正しております。

■連結収支見通し比較 (初の減収増益)

(単位：百万円)

	今回発表予想 数値	前回発表予想 数値(7月公表)	増減 (対7月公表)	平成 20 年度 実績
売 上 高	163,300	162,600	+700	173,136
営 業 利 益	16,000	15,700	+300	14,086
経 常 利 益	12,600	12,500	+100	10,717
当期純利益	7,800	7,700	+100	5,604